

せいろう

Seiro Town

議会だより

Vol.121

12月議会

平成30年
1月19日発行

新潟県聖籠町議会



サンタさんに灯りをともして
(蓮野こども園)

新年のあいさつ

9人が一般質問

友好交流都市

三重県川越町レポート

2~3ページ

10~19ページ

20~21ページ

2018

謹賀新年

人と人の輪を大事に
未来へつなぐ町づくりに努めます

聖籠町議会議員一同



新春を迎えて

議長
田村
富美男



地方創生を 町民と共に

町民の皆さま、明けましておめでとございます。

昨年8月5日に、町制施行40周年記念式典が挙行されました。その中で、三重県川越町との友好交流都市協定が締結されました。

これを機に、今年は行政間だけではなく、町民同士の交流が盛んになることを期待しています。文化・スポーツ・学力等、町づくりの取り組みに、大いに参考になることと思います。

今年は、国土交通省が東港を日本海側の拠点港に選定してから7年が経過します。また、来年は新潟開港150年を迎える年でもあります。

こうした中、描かれたさまざまな計画が絵に描いた餅にならないよう、そして東港が拠点港ふさわしい発展を遂げていけるようお願いいたします。

今年も、町民の皆さまの健康と幸せをお祈り致すとともに、議会にご理解とご協力をお願い致します。

決分 衆議院議員総選挙の経費

一般会計補正予算

若い世代の人たちの投票率はどうだったのか。聖籠町全体の投票率向上をどう考えているか。

選挙管理委員会の啓発活動

【総務課長】18歳、19歳の総有権者数は337人。投票した人は177人で投票率52・52%であった。町全体の投票率を上げるため、選挙管理委員会は啓発活動を引き続き行う。

討論 なし
採決 全員賛成で承認

決分 ざぶ〜ん館の修繕料追加

一般会計補正予算

（歳入） 観音の湯ざぶ〜ん館維持基金繰入金 1400万円
（歳出） 修繕料 1400万円

主な質疑

【五十嵐利栄議員】修繕費1400万円のうち、最終的にいくら使ったのか。ざぶ〜ん館のお湯は、10月19日から11月27日までの間、温泉ではなく、沸かし湯で対応した。沸かし湯のため、利用者から入湯税をもらわなかった。昨年と比較して、利用者

者の数と売上額はどうか。 【保健福祉課長】最終的に修繕費は972万円であった。 利用者の数は、昨年の10月、11月と今年の10月、11月を比較すると合算して、2371人減少している。売上額は、721万円減少である。

討論 なし
採決 全員賛成で承認

【五十嵐利栄議員】修繕費1400万円のうち、最終的にいくら使ったのか。ざぶ〜ん館のお湯は、10月19日から11月27日までの間、温泉ではなく、沸かし湯で対応した。沸かし湯のため、利用者から入湯税をもらわなかった。昨年と比較して、利用

者の数と売上額はどうか。 【保健福祉課長】最終的に修繕費は972万円であった。 利用者の数は、昨年の10月、11月と今年の10月、11月を比較すると合算して、2371人減少している。売上額は、721万円減少である。

▲選挙に行こう!!



主な質疑

【選挙事務従事者時間外勤務手当】433万円

投票率の向上施策は

【中村恵美子議員】衆議院の総選挙の投票率について、聖籠町はいつもながら低く、県内で下から2番目であった。

条例改正 住宅を建てられる土地が増える

都市計画法施行条例

市街化調整区域内の住宅建築について、分家住宅など特定の要件を満たすものでなければ建築できませんでしたが、現況が宅地または宅地状態であれば、住宅の建築ができるよう土地要件を緩和してきました。しかし、対象となる地域では、住宅の建築が進み、土地が減少しています。このようことから、現況が宅地または宅地状態で住宅

主な質疑

建築が可能な土地の基準日を平成30年1月1日に変更して、住宅が建てられるよう対応を図ります。なお、聖籠町都市計画マスタープランにより、市街化調整区域内の集落は、田園居住ゾーンとして位置づけています。農村集落として、ゆとりある居住空間を維持し、秩序ある都市形成のため、今回の改正は、住宅または住宅で事務所、店舗等を兼ねる建築物を対象にします。

住民への周知徹底を

【五十嵐利栄議員】この改正で、住宅はどの程度建てられるとみているか。 今回の改正の詳細と地域エリア等を分かりやすく住民に周知徹底をしなければならぬ。

広報などで知らせる

雑種地も含む

【ふるさと整備課長】宅地状態とは、固定資産税の宅地課税等ということであるが、雑種地も含む。住宅で店舗の例としては、美容室などを営むことが考えられる。

宅地状態とは何か

【ふるさと整備課長】住宅が建てられる土地は、平成16年4月1日を基準日としてから現在まで、50筆程度あると把握している。住民への周知については、広報等で知らせる。

地域住民からの相談あったのか

【宮沢光子議員】担当課と

各集落からの要請があり政策とした

【町長】平成16年4月1日の基準日以降、住宅の建築が進んだ。その後、各集落等から、土地要件の緩和や空き家住宅の

問題は絡み、政策上、基準日を変えざるを得なかった。 【ふるさと整備課長】把握している50筆の土地について、住民からの相談はなかった。店舗のみの建築は認められない。

討論 なし
採決 全員賛成で可決

固定資産評価審査委員会に 本間敬さん(新任)



本間 敬さん (汐美台)

固定資産評価審査委員会委員の渡邊幸明さんが平成29年12月31日任期満了になることから、後任に本間敬さんが選任されました。全員賛成で同意しました。



▲枯れないで「ざぶ〜ん」源泉

● 地方自治施行70周年記念で 総務大臣表彰

● 生涯活躍のまち構想検討会 報告書まとまる

● 来年2月（仮称） 聖籠福祉社会の設立

行政報告



わたなべ 渡邊町長

▼これまでの町の積極的な取り組みが子育て世代への定住促進に寄与していることなどが評価され、総務大臣から表彰されました。

▼生涯活躍のまち構想検討会の報告書では、高齢者が自立して安心して暮らすことができる住まいとサービスの選択肢として、CCRCと呼ばれる「自立型住まい」を中心

とした、介護まで対応する民間事業を誘導することを提言しています。

▼「空屋等対策に関する協定」に基づき関係団体と協力・連携し、空屋等相談会の開催など空屋等の解消に取り組みます。

▼三重県川越町との交流は、訪問した団体から意見・提案をいただき、川越町と協議を進め検討します。

▼福祉法人（仮称）聖籠福祉社会の設立準備は、来年2月の新法人設立に向け、県への許可申請、社会福祉法人豊聖福祉会との分離独立協議、町社会福祉協議会の介護事業の移管、特養20床増床について作業を進めています。

▼米の作況指数は、県全体96、本町を含む下越北は98でやや不良。一等米比率は79・2%で、先年比4・8%上昇しました。

▼12月2日・3日、東京国際フォーラム「町イチ！村イチ！2017」で、農産物の販売やキャラクターなどで聖籠町の魅力をPRしました。

▼「聖籠町いじめ防止等対策委員会」は、関係者の聴き取りや、委員会協議を11回開催しました。報告時期は、年明け以降になると見込んでいます。

▼平成30年度新規入園申請は、0歳児73人、1歳児27人、2歳児13人、継続児195人。合計で308人の入園予定です。

人権擁護委員の 推薦について

主な質疑

兼務することに
問題はないか

五十嵐利栄議員 人権擁護委員に推薦された高橋さんは、新しくできる社会福祉法人の評議員になる予定の人であるが、兼務することに問題ないのか。

問題はない

町民課長 人権擁護委員の推薦については、年齢が68歳以下という制限はあるが、社会福祉法人の評議員であることに問題はない。

人権擁護委員に 高橋たか子さん（新任）



たかはし 高橋たか子さん
（網代浜）

人権擁護委員の齋藤常雄さんが平成30年3月31日で任期満了になることから、後任に高橋たか子さんが推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

人権擁護委員に 佐久間千都さん（再任）



さくま 佐久間千都さん
（蓮潟）

人権擁護委員の佐久間千都さんが平成30年3月31日で任期満了になることから、引き続き推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

読者の声



ふかい なおみ 奈緒美さん
（山大夫）

これからの教育環境に期待

私は聖籠町に住んで10年が経ちます。住み始めて今まで変わらずに思うことは、子育てがしやすい町、そして地域の方皆さんで町を支えているということ。この議会だよりを読んでいても「〇〇の通学路が危ない」「や「預かり保育の場所を〇〇してほしい」などの住民の声にしっかりと回答している点も、子育て中の母親としては耳を傾けてくれてくれるんだなとうれしく思っています。

こうして町を築き上

げてきたんだと思う反面、もっと積極的に新しいことを取り入れてほしいという思いもあります。ここ数年で預かり保育や児童クラブ、図書館などの施設が新しく建ち、学力低下に伴い年長のお昼寝を廃止し学習に充てるなど新しい取り組みもあり、少しずつ変わっている印象もあります。ですが、その学習の内容も不十分なように感じます。これからは英語も必須になるので、ひらがなも英語も学習まで

れる機会をつくってほしいと思います。核家族、共働きの家族が増え、家族環境も変わってきています。参観日の内容も、回数を減らしても内容の濃いものに変えるなど、無理なく参加できる環境づくりもこれからは必要になってくると思います。

教育にかかわらず少しずつでも新しいことを取り入れて、住民がもっと住みやすく安心して生活ができる町づくりを、これからも行ってほしいと思います。

みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となります。まず請願1件を審査し、賛成多数で採択としました。

採択した請願

◎基礎年金の改善と年金の毎月支給を求める意見書採択の請願書

〔提出者〕 全日本年金者組合聖籠支部 支部長 石井 吉春
〔紹介議員〕 宮沢 光子・小川 勝也

討論 なし
採決 賛成10反対2で採択

意見書を国・県に提出

第4回定例会で1件の意見書が提出され、賛成多数で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎基礎年金の改善と年金の毎月支給を求める意見書

「新たな社会福祉法人設立へ」

一般会計補正予算

主な歳入

■農地集積協力金	4929万円
■ふるさと応援寄附金	500万円

主な歳出

■社会福祉法人設立資金交付金	1800万円
■子ども医療扶助費	557万円
■農地集積協力金	4929万円

平成29年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9210万円を追加し、総額69億5838万円と定める予算を全員賛成で可決しました。

主な質疑は歳入で中学校通学バス利用者収入、歳出で社会福祉法人設立資金交付金、蓮潟こども園連絡通路設置工事などについて質疑が行われました。

主な質疑

交付金の内訳は

【小川勝也議員】社会福祉法人設立資金交付金の内訳は。

必要経費である

【町長】新法人設立に向けての基本財産と、はすがた園増床にかかる経費の一部負担金である。

要綱の変更はあるのか

【中村恵美子議員】就学前援助が実施されるにあたり、聖籠町就学援助要綱変更の必要があるのか。また、就学援助の該当者は何人か。就学前援助の導入は遅かったのでは。

現状で対応可能

【子ども教育課長】要綱変更の必要はなく、現状で対応可能。該当者は13人である。適切な時期を検討した結果である。

委託料増額の理由

【宮沢光子議員】緊急通報装置設置事業委託料の詳細は。今後も利用者が増加すると見込んでいるか。



▲新法人が運営する「はすがた園」

実績と見込みによる増額

【保健福祉課長】当初25人の利用だったが、現在35人の利用がある。実績と見込みによる増額である。高齢者世帯・単身世帯は年々増加傾向にあり、今後、利用者も増加すると見込まれる。

なぜ同時に作らなかったのか

【五十嵐利栄議員】「そだちの家」建設と同時に連絡通路をなぜ設置しなかったのか。建設当初から設置する考えはなかったのか。

予算上の問題

【子ども教育課長】繰越予算の中で対応できればよかったが難しかった。「そだちの家」建設後、再度こども園に確認、要望があったため連絡通路設置となった。

通学バス利用者減の理由は

【中村恵美子議員】中学校通学バス利用者収入が減少しているが、減少の理由は。保護者の送迎が増加しているのか。また、利用者は何人の減となっているか。

送迎の増加も理由の一つ

【子ども教育課長】正確な理由は把握していないが、保護者送迎が増加したことも減少理由の要因と思う。昨年と比べ、利用者は13人減少した。



▲「そだちの家」へのアプローチ

道路にかかる修繕料

【宮沢光子議員】道路維持費の中に修繕料とあるが、全て道路補修整備にかかるものか。

除雪車の修繕料である

【ふるさと整備課長】道路修繕料ではなく、除雪車の修繕料である。点検整備を行ったところ、除雪用グレーダー1台、ショベルカー1台、歩道除雪機3台の修繕が必要になった。

対策考えているか

【五十嵐利栄議員】町には二つの海岸があるが、北朝鮮船や不法侵入に対する町の対策は。

社会的問題として捉える

【町長】社会的問題として対応が求められる。今後とも県と協議し、関係機関との対応を図っていく。

手数料の金額は

【五十嵐利栄議員】ごみ指定袋販売業務委託料が増額となっている。ごみ袋販売量増加に伴うものか。手数料の内訳は。

1セット一律60円

【生活環境課長】販売量増加に伴う増額である。各ごみ袋1セット当たり一律60円の手数を支払っている。

嘱託員報酬減の理由

【中村恵美子議員】情報機器管理嘱託員報酬減の理由は。嘱託員不在により支障はなかったか。

出産による人員減

【子ども教育課長】嘱託員報酬減の理由は、出産のための減である。新たに雇用はせず、現教諭と担当職員で対応した。生徒から不自由の声はなかった。



▲町所有の除雪車



五十嵐 利栄 議員

どうする米の品質対策

町長 土壌改良の徹底化

問 TPP11やFTA（日米自由貿易協定）を強く推進するのであれば、日本農業はさらなる危機になる。農業者に対して一定のリスク配慮すべきである。現在の国の動きをどう捉えているか。

町長 農業問題のTPP交渉には一貫して反対の立場である。全国町村会ではTPP11交渉で、国益を損なわない取り組みを要望している。

問 聖籠町の米の一等米比率が、昨年、今年も県の平均やJA北越後平均に比べ5〜16ポイントも低い。原因と対策をどう考えているか。

町長 一等米比率が低い原因は他地区に比べて地力が低いこと。このため米の粒が大きくならず、



▲おいしい聖籠米をついばむ白鳥

未熟米が格落ちの大きな原因である。対策としては、稲わらやもみ殻のすき込みで土壌改良を行うことを農業

者に周知徹底していく。

町長 隣接店舗の活用検討

地場物産館は撤退したテナントのテナント料を他の事業でカバーできず、ここ数年赤字経営が続いている。農家の直売組織

「とれたて市場運営協議会」が地場物産館に支払う手数料率を下げるには、赤字体質からの脱却が急務である。

町長 地場物産館の隣接店舗と併せた一体的な活用を現在、協議している。ビジョンが決まったら議会に報告し理解を得たい。

問 学校給食材料の供給について、現行より相当金額を地場物産館へ増額できないか。

町長 地場物産館が安定的な供給が可能か、協議・検討し、対応の是非を考えた。

問 加工センターで製造している餅の評判が良く、設備の一部と備品拡充、稼働体制の部分変更で生産能力アップが可能か。検討できないか。

町長 餅の販売は収支の均衡をどうにか保っている。設備投資等による生産能力拡大は難しい。

問 直営の食堂は開店から6年経過し、販売が伸び悩んでいる。委託等の検討の考えはないか。

町長 地場物産館の隣接店舗と併せた一体的な活用を現在、協議している。ビジョンが決まったら議会に報告し理解を得たい。

問 全国学力テストで、常に上位を占める秋田県や福井県と、聖籠町との対策上の違いはあるか。

教育長 直接比較するのは難しい。県レベルでは新潟県も施策で大きな差はない。

問 少人数学級の取り組みで新潟市は新潟県より大きく前進し、小学3年〜中学3年まで少人数体制が進んでいる。町独自で少人数学級を前進させる考えはないか。

教育長 財政的な面と、少人数だから学力が良いというデータもなく、町独自の少人数体制は考えていない。

町独自で少人数学級を

教育長 財政面等で難しい



一般質問 町政を問う

- 12月議会では、9議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、2月末に町ホームページに掲載される予定です。

9議員が質問

五十嵐 利栄 議員 P11

2 1 どうする米の品質対策
3 2 1 地場物産館の赤字脱却を町独自で少人数学級を

宮沢 光子 議員 P12

2 1 どう考える川越町との交流事業
10年経過した学校運営協議会の評価は

中村 恵美子 議員 P13

2 1 子どもの医療費助成高校卒業までに救済制度の周知を
その他の質問

長谷川 六男 議員 P14

2 1 防犯カメラの設置を
公共施設の維持管理は大丈夫か

田中 智之 議員 P15

2 1 ふるさと納税 今後の展開は
昨年度のいじめと不登校の実態は

宮沢 さやか 議員 P16

2 1 学校と連携した防災訓練を
園行事の配置見直しは

渡辺 豊 議員 P17

2 1 町は金持ちか
海難事故のその後は

小川 勝也 議員 P18

3 2 1 公共施設利用は順調か
新住民との融合と調和は
職員規律は順守されているか

青木 順 議員 P19

2 1 空き家活用に補助金を
ふるさと納税はこれで精一杯か



みやざわ みつこ 議員

どう考える川越町との交流事業

町長 将来とも持続性あるものにしたい

問 8月5日、当町は、三重県川越町と「友好交流都市協定」の締結をした。川越町とは、平成27年に「災害時総合応援協定」も結んでいる。今後、両町はさらに密接な関係になり得ると思うが、友好交流都市協定を結んだ理由は何か。

町長 聖籠町にとって、他の自治体と交流協定を結んだのは初めてである。太平洋側にある川越町は、歴史的背景は違っても、町の地形、人口、産業（火力発電所等）が当町と非常に似かよっている。今、日本全国、自然災害が頻発している。いざという時、太平洋側に交流する自治体があるのは有意義なことである。

的には住民同士の交流につながる事が理想である。しかし、まずは、町行政が具体的な交流施策を示すべきではないか。

町長 協定の中に書いてある「交流の基本的方針」を基に、川越町と意見交換をして、確認を進めている。今後、基本方針を定め交流計画を作る。まずは、行政間の交流を図りたい。



▲見て聞いた川越町の町づくり

問 町の学校教育、社会教育の分野で、川越町とどう交流すべきと考えているか。

教育長 町行政の計画を基本に交流を考える。

10年経過した学校運営協議会の評価は

教育長 一定の成果は出た。町の小・中学校に学校運営協議会が設置されて、約10年経過した。当初、学校に対する従来の概念から、先進的な取り組みに、保護者からの理解が得られなかった。今、時間が経過して教育委員会はどう評価しているか。

教育長 一定の成果は出た。活動が優秀であったということ。昨年度12月に文部科学省から表彰を受けた。今後、学校運営協議会が主体的に活動できる体制にしたい。

問 学校の組織に、学校支援地域本部がある。この二

つの組織の違い等を保護者は理解しているか。今後、学校支援地域本部を発展的解消して、学校運営協議会と一体化すると考えているか。

子ども医療費助成 高校卒業まで

町長 医療費助成の拡大はしない

問 子どもの医療費助成を高校卒業まで助成している自治体は、平成27年9月議会の質問等では新潟県内の10自治体だったが、現在では20自治体となっている。聖籠町は中学校卒業までの助成である。20自治体は、全ての子どもを対象に高校卒業まで助成している。

町長 町は当面、高校卒業まで医療費助成を拡大する考えはない。それぞれの市町村は、さまざまな施策について財源との優先性を考えながら、何を優先するかは、自治体により違いがある。



なかむら えみこ 議員

救済制度の周知を

町長 必要があれば検討を加えたい

問 中皮腫や石綿（アスベスト）による健康被害者が出た場合には、石綿による健康被害の救済に関する法律による救済制度が厚生労働省や環境省で取り扱われることになっている。このことを町民に周知、啓発する必要があるのではないか。

町長 仕事の原因で石綿による健康被害を生じた人は、厚生労働省所管の



▲町のシンボル東新瀧火力発電所

問 東新瀧火力発電所建設時、配管の保護材として石綿を使用したのではないか。

町長 石綿を東新瀧火力発電所で、使用していたかについては、町では把握していない。東北電力は

1ムページでの石綿使用状況の公表により、石綿の使用があったものと認識している。

問 町民が石綿の取り扱い作業に従事していたことは、知っていたのか。

町長 東新瀧火力発電所の建設に、一部町民も従事していたものと思われる。町としては、把握していない。

その他の質問

問 町民の健康管理等の対策の考えは。

町長 保健師を中心に予防対策を含めて推進。



むつお 六男 議員
はせがわ 長谷川 議員

防犯カメラの設置を

町長 現段階では考えていない

問 最近、防犯カメラの必要性が取り沙汰されている。特に子どもの安全を考え、通学路への設置を進めている自治体が増えてきており、カメラで監視することによって、犯罪の抑制効果を得るためのものである。

町長 子どもが犯罪に巻き込まれるのは下校途中が多く、周囲の目の届かない所で事件が多くある。犯罪に巻き込まれてから対処をするよりも、予防が大切ではないだろうか。本町も各小学校区や中学校の通学路など、主要箇所には防犯カメラを設置したかどうか。

町長 小・中学生の防犯対策への活用は期待できるものと考えている。現段階では考えていない。



▲犯罪抑制のためにも防犯カメラの普及を

いが、今後の状況の変化によって、特に必要な箇所があれば、検討していく。

問 各学校に防犯カメラの設置がないと聞くと、玄関、校門等に設置すべきではないか。

教育長 子どもたちが学校にいる時間帯、下校時には学校職員、あるいは地域や保護者の方によって見守りが行われている。

現段階での設置は考えていない。

問 学校以外の公共の建物で、特に人の出入りのある所には設置すべきではないか。

町長 設置にあたっては、その施設の特性を考慮した上で、慎重に設置する必要があるかどうか考えていく。

公共施設の維持管理は大丈夫か

教育長 日々の点検を行って努力していく

問 町民会館のトイレの汚れが目立つ。特に人が大勢入館した時などはひどく感じる。こまめに清掃したらどうか。町民会館の奥の方に行くとき、外側の窓の汚れがひどい。

町長 町内外から多くの来館者があり、いつ行っても喜ばれる施設でなくてはならないのではないかと。清掃のあり方を見直し、今後は来館者に不快な思いをさせないように、日々の点検と清掃を心掛けていく。

問 ある学校へ行ったら、廊下の壁紙が継ぎはぎさされていたり、外側から見渡すとさびびつてきている所や、道具小屋の屋根の雨どいがぶら下がって機能してなかったり、校舎側の雨どいが枯葉などで詰まり全く役目を果たしていないのではないかと。

教育長 緊急性のある小規模な修繕については発見次第、随時対応しているが、目の行き届かないところがあった。今後は安全点検活動を徹底するとともに、業務委託の手法や維持管理については、柔軟に対応できるような方法を検討していきたい。

していない箇所があった。そのまま放置しておくこと、余計な経費がかさみ予算の無駄遣いにつながるのではないかと。

教育長 緊急性のある小規模な修繕については発見次第、随時対応しているが、目の行き届かないところがあった。今後は安全点検活動を徹底するとともに、業務委託の手法や維持管理については、柔軟に対応できるような方法を検討していきたい。



たなか ともゆき 智之 議員

ふるさと納税 今後の展開は

町長 クラウドファンディングも検討

問 本町では、ふるさと納税の返礼品として果樹や米、季節野菜などの農産物を用意している。一方、全国では陶芸や乗馬、ダイビング体験など、地域の特色を生かした「体験型返礼品」が増えている。体験型には、返礼品ではなく町自体に興味や好感を持ってもらえるというメリットがある。また最近では、災害からの復興や町づくりに対する寄付も増えている。制度の浸透とともに、寄附者の意識や行動も変

町長 本町では、「モノ」から「心の財産」へ、という寄附者の意識の変化をどう捉え、どう町づくりに反映させていくか。また、自治体と納税者が共に高め合う関係を築くために、この制度をどのように展開していくか。

町長 本町では、町と寄附者の交流を目指すことを念頭にこの事業を開始した。体験型の返礼品を用意することが今後の課題でもある。サクランボやブドウの収穫体験など、本町でどのような体験型

の品、種類を用意できるか。それが実現可能かどうか、今後内部で検討する予定。また、寄附金の

使い道を「見える化」して寄附を募るクラウドファンディング型ふるさと納税の活用も検討する。今後は、魅力的な施策の推進や返礼品の開発などに取り組む。また、企業版ふるさと納税をいま検討している。



▲返礼品に聖籠町の大地の恵み

昨年度のいじめと不登校の実態は

教育長 小・中でいじめ12件 不登校17人

平成28年度のいじめ認知件数は、新潟市では前年度比で小学校が約6倍、中学校は約2倍となった。全国でも前年度比45%増となり、特に小学校での件数が増加した。

問 昨年度、町内小・中学校で認知されたいじめの件数と内容は。それに対する学校・教育委員会の対応は。現在の状況は。

教育長 小学校6件、中学校6件。内容はからかいや冷やかしの悪口や仲間外れ、無視など。対応は、学校いじめ防止基本方針に基づいてきめ細やかに対応。教育委員会にも速やかに報告が上がる。現在、道徳の授業やあらゆる生活の中で、心の面からの耕しに重点を置いて取り組んでいる。

問 現在の町内での不登校児童と生徒の人数は。その原因は何か。また、どう対応しているか。

教育長 30日以上にわたる欠席は、小学校3人、中学校14人。要因はさまざまである。対応は学級担任による家庭訪問や電話連絡など。ただ、長期欠席の子どもの中には、フレンドルームなどに行き勉強する子もおり、いろんな態様がある。



みやざわ さやか議員

学校と連携した防災訓練を

町長 教育委員会と協議する

問 まちなか防災訓練とともに、災害を想定した指定避難場所での訓練も必要ではないか。

町長 町が訓練実施場所を指定することは考えていない。しかし、迅速な避難行動を行う上で、平時より指定避難場所を確認することは重要。各組織の意向を配慮し、適切な助言を行いたい。

問 指定避難場所のうち、7カ所は園や学校である。避難場所としての学校を確認する意味でも、学校と地域が連携した防災訓練を実施してはどうか。

町長 まちなか防災訓練と合わせて連携した訓練が行えるか、教育委員会と協議し検討する。

教育長 地域との連携、避難所の開設等、検討すべき課題がある。町と協議しながら進めていきたい。

問 災害が起きた際、スムーズに避難場所まで案内する方法として避難誘導標識を設置しては。

町長 必要な財源が相当高額になると想定される。今後の方向性を含め、設置に向けた検討は必要。

問 本町は転入者も増加し、町内には幹線道路もある。町内の地理に乏しいドライバー、町外者への配慮も必要では。

町長 標識設置だけではなく、被災時には地域住民と町外者、ドライバーとの連携が重要である。



▲知っていますか？指定避難場所

園行事の配置見直しは

教育長 開催時期は適当と判断

問 保護者参加の各行事は、冬季の感染対策を図る意味で開催時期を見直すべきと提案した。その後の進捗状況は。

教育長 発表会は発達段階に応じ、成長の喜びを共にする機会と位置付けている。目的を考慮し、開催時期は適当と判断。

問 行事の配置見直しは毎年行われているのか。

教育長 毎年行事の見直しを含め、次年度の計画を立てている。

問 行事に対する保護者の要望はさまざまである。小学校同様、フリー参加の開催、学年全体行事は3月初旬に実施等配慮しては。

教育長 保護者参加型の行事は、欠席もやむを得ないと捉えている。園と保護者との意見交換が重要。

問 預かり保育、参観日のTV、DVD視聴の実態調査はどうであったか。

教育長 視聴時間は外遊び等による園児の疲れの緩和や、園児引き渡し時の保護者への伝達時間として位置付けており重要である。

問 小・中学校では家庭と連携したメディアコントロールに取り組んでいる。園でも同様で、内容の工夫も必要ではないか。

教育長 視聴の効果を狙うことが目的ではない。活動の区切り、休憩時間を考慮し、預かり保育のリズムの中で構成が必要。

町は金持ちか

町長 実質は交付団体が現状

問 町は金持ちといわれているが、経常収支比率が要注意水準にある。税金が減少しつつある中、これからは住民サービスの低下はやむを得ないことと考えるか。歳出を抑える手段として、何か具体的なものはあるか。

町長 歳入財源が減っているのに交付団体とならないのは、国の算出基準が原因である。当町は臨時財政対策債という予算は使えない。

問 歳入財源が減っているのに交付団体とならないのは、国の算出基準が原因である。当町は臨時財政対策債という予算は使えない。

町長 必要だからお願いしている。教育委員会部局に多い。いろいろな特殊

財政運営をしているのが現状である。

問 先日、視察した三重県川越町は、規模は同じながら、本町の3分の2の職員で十分仕事を行っている。本町の収支比率が悪いのも人件費が原因ではないのか。

町長 これまでも、行政改革の中で計画的に削減してきている。

問 臨時職員は多くないか。

町長 必要だからお願いしている。教育委員会部局に多い。いろいろな特殊

問 住民サービスに対する考え方も、劇的に変化しつつある。本町でも、お年寄りに重きを置いた住民サービスをやってきた。それも大事だが、しわ寄せを受けている子育て世帯にもっと公費を投入すべきではないか。

町長 具体的な歳出の削減策はあるか。

町長 鋭意精査中。



わたなべ ゆたか 議員



▲町民に喜ばれる町づくり

海難事故のその後は

町長 まだ捜査中

問 事故そのものは厳しく検証し、今後に生かさなければならぬ。

町長 関係機関の捜査の現状と、役場内での処置も含めた現況はどうなっているか。

町長 まだ、職員が新潟海上保安部の聴取を受けている状況下にある。

問 捜査が完了したら、結果を町民に周知するか。

町長 職員の処遇は、原則、公表しない。

問 処分規定には、公表しないという文言があるのか。

町長 職員の処分は、あえて公表する基準はない。情報公開等申し出があれば、公表される場合もある。

問 人命が失われた、町の直接工事でもあり、公表は町長の義務では。

町長 義務規定はない。

問 公職は、秘密にはしらず公開するという自らの姿勢が大切と思うが。

町長 厳重に対応している。



おがわ かつなり 議員

公共施設利用は順調か

町長 イベント充実し利用促進

問 本町には、ほとんど町民が利用していない施設がある。

町長 利用状況は、施設の利用目的に沿った適正な稼働状況である。さらなる利用を図るため、イベントの充実や広報紙を活用したPRをして、利用促進に努める。

問 今後は、CCR構想と新たな造成計画、そして空き家対策等に伴う公共施設整備が予想される。

町長 町で行う新たな整備計画の予定は。

問 町の公共施設は一定程度整備済み。今後は箱ものの必要性はなくなったと理解している。

問 旧みかさや建物の買取部分の施設活用予定と、そのスケジュールは決定したか。

町長 副町長を中心として検討。平成30年度予算で措置するかどうか考えていきたい。

新住民との融合と調和は

町長 行政としてできる範囲で対応

問 新住民と旧住民との融合、調和はできているか。集落によってバラバラになっている。指導すべきでないか。

町長 各集落の問題であり、行政指導はしないが、具体的な相談があれば行う。



▲新住民が増え集落の活性化を

政の範囲内で対応する。

問 老人クラブとシルバ一人材センターの登録者の増加、向上対策を進めるべきではないか。

町長 町があまり関与すべきでない。各単位老人クラブが対象者を直接訪問し、5年間で50人の会員増を目標に、地道な勧誘活動を続けていると聞いている。

職員規律は順守されているか

町長 徹底指導を行っている

問 本年、職員の関わった死亡事故が2件あった。その処分、指導、研修はあったのか。

町長 適切に支給されており、不適切な事例は、総じてなかった。

町長 交通事故は公務外であるが、指導、管理を徹底。現状では、書類送検等の処分は未確定。

問 庁舎内で、訪問者に対するあいさつは徹底しているか。また、指導をしているか。

問 職員の交通費、通勤費は、適正に支給されているか。柏崎市では、バス移動を新幹線で請求していたが、本町はそのような事例はあったか。

町長 あいさつをはじめとする接遇向上については、朝礼や、接遇の専門研修等を通じて、服務規律の徹底について指導を行っている。

空き家活用に補助金を

町長 今のところ考えていない

問 空き家の発生軒数の推移はどうなっているか。空き家の調べ方は。

町長 平成28年度の71軒より11軒の増加で、うち6軒が管理不全空き家である。年々増加している状況である。

からの転入者への補助金については、今のところ考えていない。

問 空き家の調べ方は。空き家は62軒、管理不全な空き家は22軒ある。調査は建物の外観のみの確認である。

問 空き家に関する苦情は何件あるか。

町長 苦情については4件あった。主に雑草処理に関するもの。家主からの除却に関する相談が1件。

問 空き家を活用した移住者に補助金は考えているか。

町長 空き家バンクを活用したいが、今のところ登録がない。他の自治体

問 使いそうな空き家、老朽化した空き家は何軒あるか。

町長 管理不全でない空



あおき じゅん 議員



▲待たれる空き家対策

ふるさと納税はこれで精一杯か

町長 目標値を定め取り組む

問 ふるさと納税制度については、町の発展のため、町農業活性化のため、5千万円や1億円と目標を決め、どんどん伸ばしていかなくてはならない。

問 ふるさと納税は地方創生に役立っているか。

町長 町に来る寄附額の推移はどうなっているか。また、町から出ていく寄附額の推移はどうなっているか。

町長 返礼品の拡充を図って2年目となるが、飛躍的に伸びている。今年度は2千万円を超えた。農業振興のためにも、より一層の力を入れていく。この制度を利用し、地方創生につながるよう、町独自の創意あふれた取り組みを進めていく。

町長 平成28年度は約523万円、今年度は2500万円の寄附を想定している。

出ていく寄附額については、平成28年度対象は

友好交流都市 三重県 川越町レポート

11月8日・9日

14人の個人レポート

11月8日・9日、聖籠町と友好交流都市協定を結んだ「三重県川越町」へ議員全員で視察研修に行ってきました。
平成25年、当時の企画した「全国LNG火力発電所所在市町村連絡協議会」に川越町が参画したことによって、首長同士の交流が始まりました。
平成27年には「災害時相互応援協定」を締結しました。その後、川越町の女性会が当町を表敬訪問。川越町議会の視察や川越町の区長会も当町に訪問されて民間での交流も深まりつつあります。
今後、さらに川越町と聖籠町の交流は進展すると思われます。今回、聖籠町議会は、川越町を詳しく知るために行政視察を行いました。

田村富美男議長

川越町は、キャッチフレーズとして「いいね！笑顔あふれる元気なまち」と題している。まさにその通りであった。
街並みが美しく、立地企業も中部電力、LNG基地など聖籠町とよく似ている。
一番驚いたのは、健康管理センター内にある最新鋭の医療設備であった。財政豊かなすてきな町であった。

小林政栄副議長

本町よりの提案で、本年8月に「友好交流都市協定」を締結した川越町は三重県北部に位置し、昭和34年の伊勢湾台風を機に造成された埋立地に中部電力の火力発電所がある。昭和35年以降、急激に工業化が進み、人口も1万4963人と聖籠町と共通する点も見られ、今後の交流の拡大により、相互の理解を深めたい。

須貝龍夫議員

友好姉妹都市宣言をした川越町の視察をした。面積は本町の4分の1、人口1万4963人、世帯数6338世帯、財政力指数1.302。
人口・世帯数はともに多く、財政力は聖籠町より豊かな。城田町長はじめ議会関係者の歓迎を受けた。今後、人事交流を活発に行い、特に子どもたちのスポーツ交流を進めたいとのことであった。

小川益一郎議員

四日市市と桑名市に挟まれた川越町が聖籠町と姉妹都市締結をした。聖籠町の4分の1超の小さな町であるが、活気溢れる豊かな大都市であった（基金200億円超）。
議会は少人数ながら一人一人の質の高さと町づくりの意欲に圧倒された。それに比べ、聖籠町議会の貧弱さを感じたのは私一人であつたらうか。これから議会の奮起を望む。

中村恵美子議員

川越町は、聖籠町の4分の1の面積にコンパクトに建物が建っている。高齢者が健康で長生きされることを願い、敬老年金や、軽犯罪率が三重県で一番多いことから、防犯カメラ41台を設置。
町が三重弁護士会と協定を締結し、弁護士による出前授業など聖籠町と違う施策を行っていた。協定により、良き交流ができることを望む。

五十嵐利栄議員

川越町の人口は聖籠町より若干多い。その中で正職員110人・非正規職員六十数人の人員体制は中身を十分に分析する価値があると強く感じた。
介護保険予算も聖籠町の67%である。内容別に当町との比較検討することで介護施策のヒントを。豊富な財政力（財政調整基金98億円など合計基金残高243億円）にはただただビックリ。



▲川越町庁舎で全員集合

宮沢光子議員

川越町の行政資料をもとにさまざまな観点から調査をさせてもらった。
川越町は、確かな財源をもとに、若い世代から高齢世代に向けたさまざまな施策を確実に実行している。平成19年3月に建てられた新庁舎は、免震構造による地震対策や浸水対策等、防災拠点としての機能が有り、いざという時、住民にとって頼れる庁舎だと実感した。

高松守雄議員

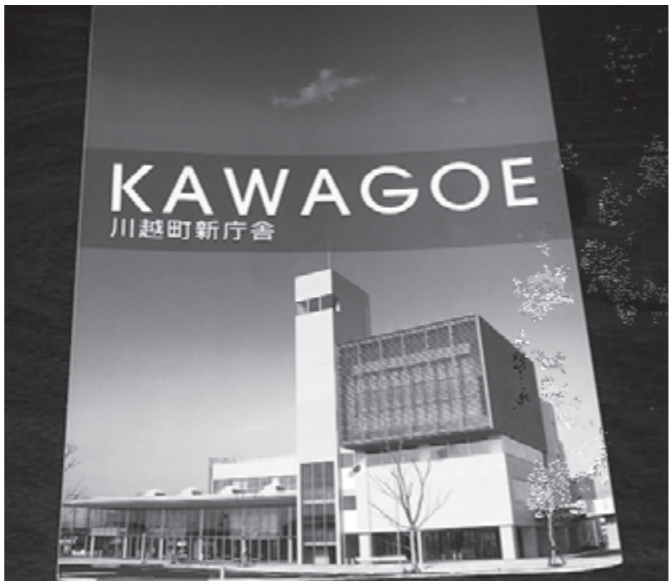
町と以前に災害相互応援協定を結んだことで本年友好協定を結んだ川越町は三重県北部に位置し、小さな町だが人口が増え続けている豊かな財源を糧にした元気な町。
伊勢湾台風を機に造成された埋立地に川越火力発電所を立地した町、どこかわが町に似た町。
町づくりの説明を受けながら違いを実感し、一層深い交流を望む。

田中智之議員

地域からの要望対応。本町では議員を通して陳情・請願として町へ要望することが多いが、川越町では区長が行政に要望し、ヒアリングを経た後、町長が可否を判断する。また区長会には全管理職が出席。10月には全区長が来年度に向けた要望書を町に提出する。区長の強い権限と議員との役割分担の明確化。新しい地方自治のあり方である。

青木 順議員

友好交流都市三重県川越町に表敬訪問し、視察した。昭和34年に中部電力川越火力発電所が立地し、急激に工業化が進み、潤沢な町政運営が可能となっている。20年間人口が増え続けているし、コンパクトな町政運営は魅力的だ。
今後、さまざまな点で参考にし、聖籠町の発展に努めていく。



▲備え万全の川越町庁舎

渡辺 豊議員

2月9日、私は一人で川越町を視察研修した。今回は、中電川越火力発電所も視察できた。コミュニティ施設としての川越電力館テラ46は、遊びながらエネルギーと生活の関わり方を学べるテーマパーク仕立ての展示館。驚きの施設であった。
伊勢湾台風を機に造成された埋立地や、インフラ整備の恩恵を、全体で享受しつつある町である。

長谷川六男議員

川越町の数ある中での特徴的な施策で、私が一番関心を持ったのは、防犯、防災カメラ設置事業である。子どもを危険から守り、犯罪を抑止するため、通学路や危険箇所などの町内に41台の防犯カメラの設置や、災害発生時の状況を適宜確認できる防災カメラを4台、平成27年度から3年計画で1億7千万円位かけて設置する計画である。

小川勝也議員

視察した全ての公共施設が、豊かな財政を背景に、敷地を有効利用し、デザインと用途がマッチした建物になっており、その利用状況も町民に気持ち良く利用されていた。
さらに、ミニバス無料での運行、主要通学路の防犯カメラ設置等、川越町の住民本位のサービスの徹底ぶりに驚かされた。
今後、聖籠町での住民サービスの手本となる。

宮沢さやか議員

子育て支援の充実している川越町の保育所数は四つ。本町同様待機児童はゼロ。幼稚園は1園である。園・保育所の利用割合は横ばいで、ニーズに応じた園と保育のすみ分けができていた。また、スポーツ少年団の活動が盛んで、中学校の吹奏楽部は強豪校とのこと。今はスポーツ・文化の面で子どもたちの交流につながることに期待したい。



▲火力発電所から見渡せる川越町

聖籠中学校とそだちの家を視察

総務文教

11月7日、聖籠中学校と蓮濁のそだちの家を視察・調査した。中学校では知・徳・体の3分野での推進状況を調査。課題は多いが、特に生徒の進路意識の低さと読書の習慣があまりないこと。またメディアコンテロールの必要性を認識することが全体の課題である。一方、学校はとも落ち着いており、部活動では全国大会に出場する生徒が出るなど、日頃の成果が十分に発揮さ

れている。そだちの家は10月24日から預かり保育に使用開始、11月1日から一般に開放された。預かりの利用人数は蓮濁こども園の児童数173人に対し83人と非常に多く、人数を考慮すると有資格職員を数人増やす必要がある。また、地方創生拠点施設として多くの町民に活用を促すため、町には一層の周知徹底を求めたい。
(文責 田中智之)



話し合った

レポート

11月30日、厚生産業常任委員会を開催した。①聖籠町商工会館の改修について、町からの改修費補助を活用し、8月着工、11月半ばに完成した。工事費は2484万円であった。

町内には約550を超える企業が立地する。そのうち商工会員は293社である。県内でも加入率は低い。東港の企業では、本社機能を持たない会社が多いことも原因の一つである。今後は町商工業のさらなる発展に向け、尽力していただきたい。②ふるさと納税の内容について、平成28年度は約523万円、平成29年は11月現在で約2千万円の寄附があった。弥彦村は米だけで3億円の寄附が集まっている。町農業活性化のためにも、しっかりとした目標を定めた取り組みを望む。
(文責 青木 順)



改修を終えた町商工会館

厚生産業

取り組みの違いを意見交換

広報広聴

11月21日、大分県豊後大野市議会の視察対応を行った。市議会の広報委員会が当町に視察研修というのは珍しいことであるが、豊後大野市は、平成17年3月に5町2村が合併して誕生した市であった。人口3万7215人。世帯数1万6346世帯。

豊後大野市議会は、平成29年4月の改選で、初めて広報委員になられた議員も多く、あらためて、議会広報のあり方を意見交換させてもらった。議長が広報委員会にどう関わっているかということや記事内容について、豊後大野市議会の広報委員会と当町は細かな点で相違点があり、お互いにいい学び合いになった。各自自治体の議会広報の委員会の取り組みは、千差万別である。しかし、共通に大事なことは、真摯に編集作業に取り組むことだと思う。
(文責 宮沢光子)

見て聞いて

委員会



本委員会は、議会改革の先進地である北海道十勝地方の浦幌町議会および芽室町議会を10月3日、4日と視察した。両町とも平成24年に議会基本条例を制定し、日頃の議会活動に取り入れている。

特に住民の声を積極的に取り入れるため、浦幌町ではモニター制度の採用、まちなかカフェDE議会など、芽室町でもモニター制度、議会サポーターなど創意を生かした活動を展開していた。このような活動を含めて、議員の活動日数は圧倒的に多かった(芽室町の議員活動日数110日、議長320日)。11月24日、これまでの先進地視察等を参考として、議会基本条例制定に向けて具体的な検討を行った。その結果、平成31年3月議会までに条例制定することを基本決定した。
(文責 五十嵐利栄)



先進地視察の報告

議会運営

本委員会は、議会改革の先進地である北海道十勝地方の浦幌町議会および芽室町議会を10月3日、4日と視察した。両町とも平成24年に議会基本条例を制定し、日頃の議会活動に取り入れている。

特に住民の声を積極的に取り入れるため、浦幌町ではモニター制度の採用、まちなかカフェDE議会など、芽室町でもモニター制度、議会サポーターなど創意を生かした活動を展開していた。このような活動を含めて、議員の活動日数は圧倒的に多かった(芽室町の議員活動日数110日、議長320日)。11月24日、これまでの先進地視察等を参考として、議会基本条例制定に向けて具体的な検討を行った。その結果、平成31年3月議会までに条例制定することを基本決定した。
(文責 五十嵐利栄)

お知らせ

～ information ～

☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

3月6日(火) 午前9時30分より
開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。あなたに身近なことかもしれません。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができますので、都合で議場に來られない方もぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望など、お気軽にお寄せください。



★表紙の写真★

「サンタさんに灯りをともして」
(蓮野こども園)

12月19日(火)、各こども園で行われたクリスマス会。来てくれたサンタさんへの道しるべ、キャンドルサービス。(撮影 渡辺 豊)

発行 責任者

議長 田村富美男

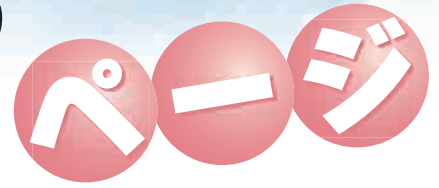
広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子
副委員長 小川 勝也
委員 中村恵美子
渡辺 豊
長谷川六男
宮沢さやか

発行 新潟県聖籠町議会
編集 広報広聴常任委員会

みんな

の



聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

旬な果物や野菜が食べられて 幸せです



よこやま まい
横山 麻衣 さん
(大夫興野)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
高校時代に知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？
どこに行くにも交通の便が良いし、果物がとにかくおいしい！
海も近いので、海水浴の時期が楽しみです。

Q 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)
いつも旬な果物や野菜が食べられて幸せです！
食べ過ぎには注意したいです(笑)
家族や近所の方々も優しくて温かいです。

Q 町に望むことはありますか？
これからも安心・安全で、子どもに優しい町であってほしいです。

今回は、新発田市出身で平成29年8月に嫁いで来た横山麻衣(旧姓 清水)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(TEL0254-27-1967)までご連絡ください。

てて、選そ長任個議 た果 出月書行さ さと もを下ほし風、
い、新挙ののにに人長9かた地の議。動。1せはさなく書りどかと富
っ、議の残賛つ的が辞月？た地域契会このたに月う誰て、思なきは登な硬士山
つ、住議より任成いな身申議会では、て住民となつ議を三員選出の多の「を考
て、長には、選間を、辞上の身申し出た。今度のは突然、
は、民の負託、議された。す可同合。この、理由は、
し、の、にのた。新議長が、議辞
の十分代表とし
えし

広報広聴常任委員会
委員 渡辺 豊

編集委員の
つぼやき

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます [聖籠町議会](#)

検索

せいろう議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。